

## 第3回意見交換会 要旨

開催日時	11 月 5 日(月) 19 時 ~ 21 時		
市町村名	大町市	グループ名	6班
要 旨			
事業主体は国、又は県。主体となる方が負担は多いが、事業内容は同じ。			
東洋紡の跡地利用の計画のように、企業誘致にお金を使えば例え交通の利便性悪くても企業は来る。車社会の生活は金が掛かる。ガソリンの税を、道路にかかる費用を下げて安価な経費で車を使う暮らしをしたい。			
地方の方が税を担っている率が多いと思われる。 「にぎやかな街にしたい」「閑静な住まいにしたい」といった相反する要望を人は持っている。			
高速道路から半径で30分以内の距離なら企業来る。			
施設を使う者が利用しやすいものをしっかり考えて作る。 市の売りとなるものが工場であって欲しくない。			
国民として同じ税金を払っているのに、都会と地方では受けるサービスは差がある。 インフラ整備として、道路の整備は必要である。			
20年後の大町はもっと過疎化していると思う。色々活用できる道はあって欲しい。 企業呼ぶためにも、道路出来て欲しい。			
国レベルで採算取れないのに、何故大金つぎ込もうとするのか。			
若い人達が都会へ出ていっても、歳をとれば帰ってくる。 将来は大町であることを考えて先を見据えていきたい。 まだここまで話に結論を出すのは難しい。			
この意見交換会を契機に今後もこのような会を行えば良い。 大町は人がいろいろな状況に対応できて、企業を務められる人間となって欲しい。 これは道と呼ぶこととは関係なく出来るはず。 用地費のかかる大型公共事業は銀行支援である。殆ど貯金されてしまう。			